

# 岩国小学校だより

令和3年(2021年)6月30日

7月号

岩国市立岩国小学校

1学期も締めくくりの時期となりました。梅雨の晴れ間をぬって水泳指導も始まり、新型コロナウイルス感染予防対策の制約がある中、子どもたちは元気に泳いでいます。

日頃の子どもたちの様子を見ていると、随所にたくましく成長した様子がうかがえます。

特に、先の体育発表会や社会見学、地域との交流学习等を通じて、学年としての自覚と自信が高まり、授業中の落ち着いた態度や気持ちの良いあいさつができる子どもたちが増えてきました。本当に、心身ともに一回り大きくなったように感じます。

さて、子どもたちの成長には、「最後までさせること」と「役割をもたせること」が欠かせないと言われています。つまりきや失敗があっても、最後までさせる。それが後の本人への大きな喜びと自信につながります。また、役割をもたせることで、責任感とともに、主体的に動き、自分なりに工夫していく力が高まります。その時、大人として大切なのが、見守ること。とかく子どもと関わる中で、手や口を出しすぎず、教えるべきことを教えたなら「見守る」こと。その上で大いに認めていくことが大切だと思います。

7月21日からは夏休みです。学校では、これから学習や生活のきまり等について事前指導をしていきますが、この休みは、学校で学んだ態度や力を家庭や地域で実践していく機会となります。1学期の成長と自信を基盤に、安全で有意義な休みとなることを願っています。



2年ぶりの水泳学習を開始しました



岩国中学校区の4小学校では、豊富な史跡や伝統文化に恵まれた校区の特色を生かし、「きんたいきょう学」に取り組んでいます。発達段階に応じたカリキュラムを作成し、地域の人々とのふれあいを大切にしたい学びを展開しています。



6月には、地域で活躍していらっしゃる方々をゲスト・ティーチャーとして学校にお招きし、たくさんの貴重なお話を伺うことができました。錦帯橋については平成の架け替え工事に携われた棟梁 海老崎条次さんに、岩国の歴史や史跡については岩国徴古館の学芸員 松岡智訓さんと吉川史料館の学芸員 原田史子さんに、鵜飼については岩国市観光協会の方に、本年度から4年生で取り組む「岩国のシロヘビ」については文化財保護課と岩国白蛇保存会の皆さんに、直接授業にかかわっていただきました。6年生での「錦帯橋子どもガイド」に向けた生

きた知識を身に付けることができたことと思います。そして、この学びは岩国中学校での「きんたいきょう学」につながっていきます。中学3年生では、「きんたいきょう学」の集大成として、京都市での「錦帯橋PR活動」を行う予定です。

また、1年生の「人権教室」や3年生の「交通安全教室」などでも、地域の方々には大変お世話になっています。今後も地域の方々とふれあうことで、地域を誇りに思い、地域の発展に積極的に参画しようとする意欲と実践力を身に付けた児童の育成を図りたいと考えています。

学校ホームページ(<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/iwakuni-e/>)

でも、岩国小学校の様子や最新の行事予定など、様々な情報を配信しています。ぜひご覧ください。

